

コロナ禍での進路決定状況と進路選びに関する調査

「キャリアス進学」では高校生の進路選択動向に関するアンケートを実施しております。

今回は全国の「キャリアス進学」会員の高校生（2021年3月時点）に聞いた中から、今回はコロナ禍での「受験・志望校選択」について尋ねました。

実査期間 : 2021年3月22日～2021年4月5日

調査方法 : インターネット調査

対象者 : キャリアス進学会員の高校生（*2021年3月時点）

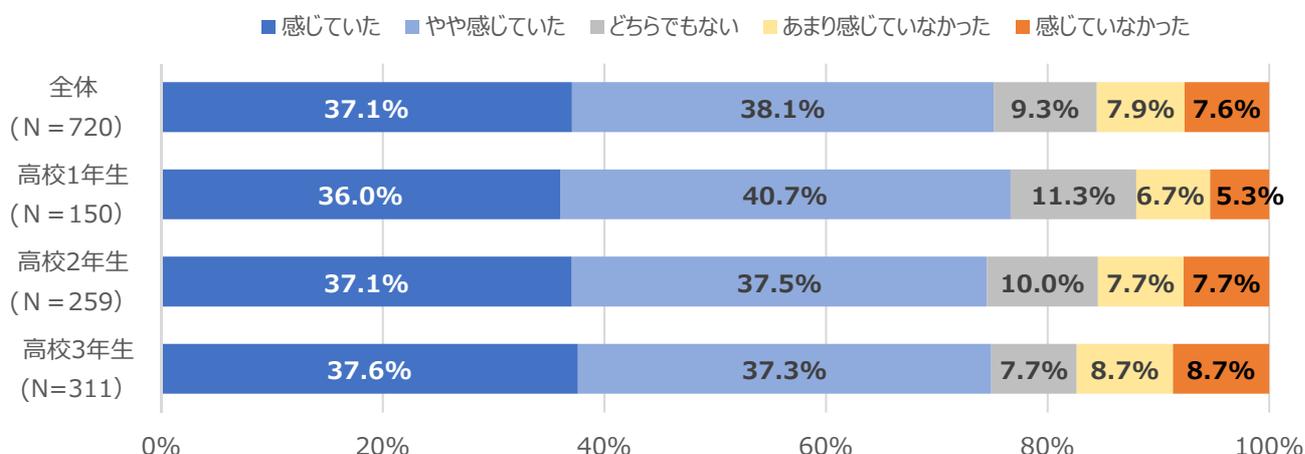
有効回答数 : 758名（高校3年生327名、高校2年生273名、高校1年生158名）

調査機関 : (株) ディスコ キャリアス進学編集部

1 コロナ禍での受験・勉強について

(1) コロナ禍で感じた受験・志望校選択に対する影響度合い

高校3年生は2020年度に1校以上受験したと回答した人、高校1・2年生は進学希望と回答した人に、コロナ禍で感じた受験・志望校選択への影響を尋ねました。



各学年ともコロナ禍の影響を「感じていた」「やや感じていた」の合計が7割強にのびます。
また、高校3年生で「あまり感じていなかった」「感じていなかった」の合計が17.4%と他学年より多く、
コロナ禍以前に受験計画を立てていたなどで受験への影響を受けにくかった層が一定数いたようです。

(2) コロナ禍での受験・志望校選択で不安に思っていること（上位5位）

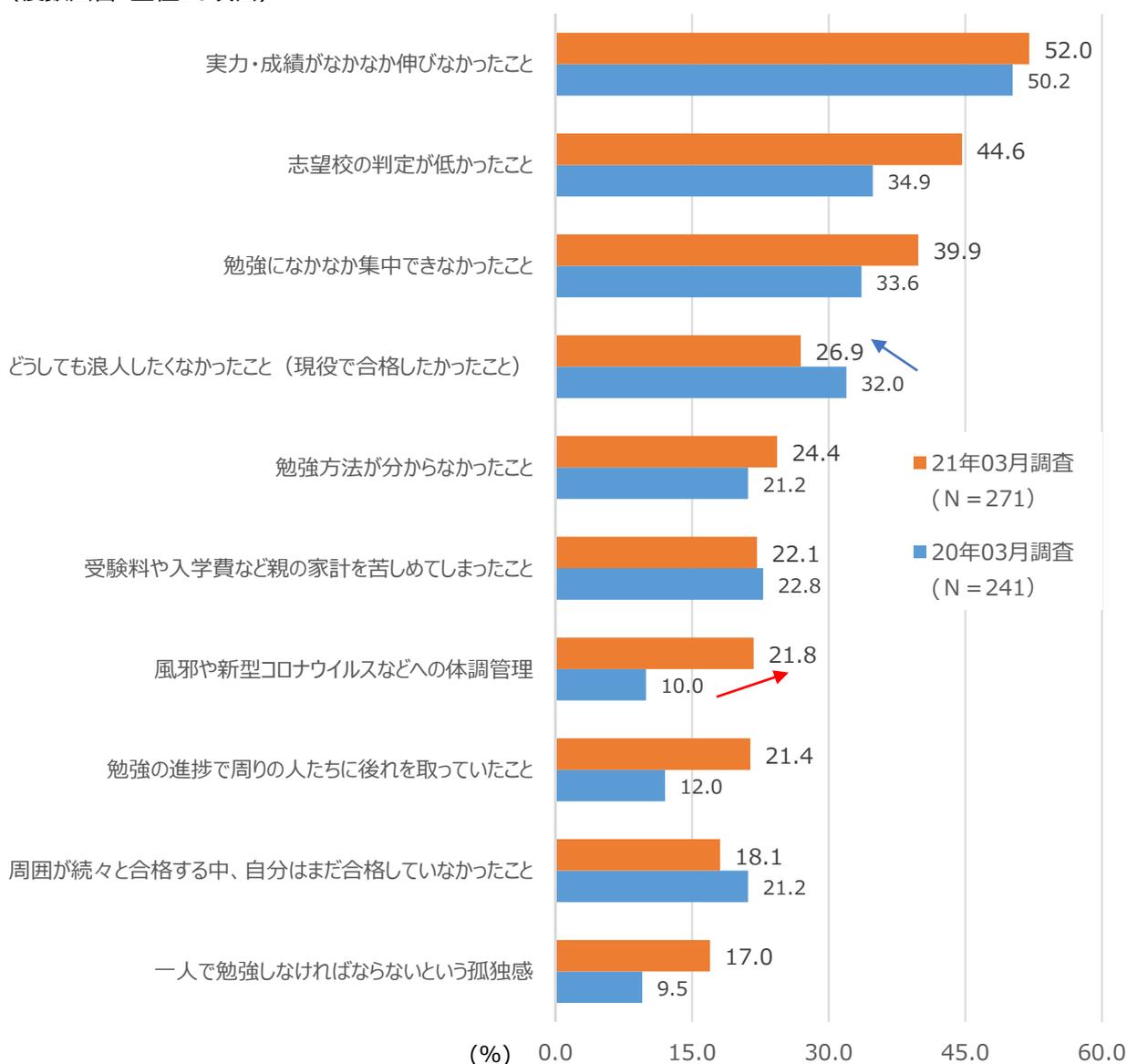
コロナ禍での受験・志望校選択に対する影響を感じたと回答したグループに、不安に思っていることを尋ねました。
 (複数回答・学年別上位5位)

高校1年生			高校2年生			高校3年生		
1	志望校のオープンキャンパスに参加できない	42.6	1	志望校のオープンキャンパスに参加できない	50.8	1	学校が休校したことで勉強や受験対策が思うように進まない/進まなかった	57.1
2	学校が休校したことで勉強や受験対策が思うように進まない	40.0	2	学校が休校したことで勉強や受験対策が思うように進まない	44.6	2	志望校のオープンキャンパスに参加できない/参加できなかった	38.6
3	志望校をどこにすればよいか分からない	23.5	3	自分よりも他人の方が勉強が進んでいるかもしれないと思う	32.1	3	自分よりも他人の方が勉強が進んでいるかもしれないと思う/思った	24.0
4	自分よりも他人の方が勉強が進んでいるかもしれないと思う	23.5	4	志望校をどこにすればよいか分からない	29.5	4	オンライン授業の設備が他校と比べて不十分/不十分だった	16.7
5	学校の授業進捗が受験までに間に合わない	18.3	5	入試形態（オンライン面接や活動報告書）の対応が難しい	18.7	5	学校の授業進捗が受験までに間に合わない/間に合わなかった	14.2
5	入試形態（オンライン面接や活動報告書）の対応が難しい	18.3				5	志望校をどこにすればよいか分からない/分からなかった	14.2

高校3年生では「学校が休校したことで勉強や受験対策が思うように進まない/進まなかった」が57.1%と最多となり、高校1・2年生では「志望校のオープンキャンパスに参加できない」が最多でした。
 「志望校をどこにすればよいか分からない」が高校1年生では2割強、高校2年生では3割弱となり、コロナ禍でオープンキャンパスやガイダンスなどが中止され、志望校の検討材料が少なく、志望校を選びにくい状況であったようです。

(3) 受験に対するストレスや悩み (高校3年生)

1校以上を受験した高校3年生に、受験に対してどのようなストレスや悩みがあったか尋ねました。
(複数回答・上位10項目)

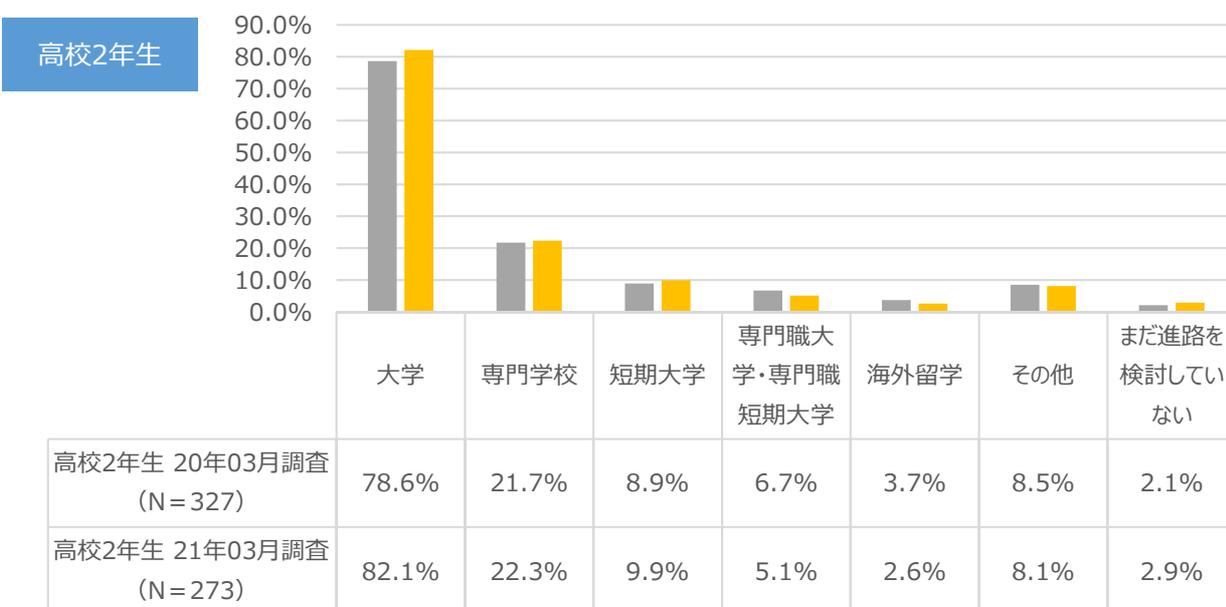
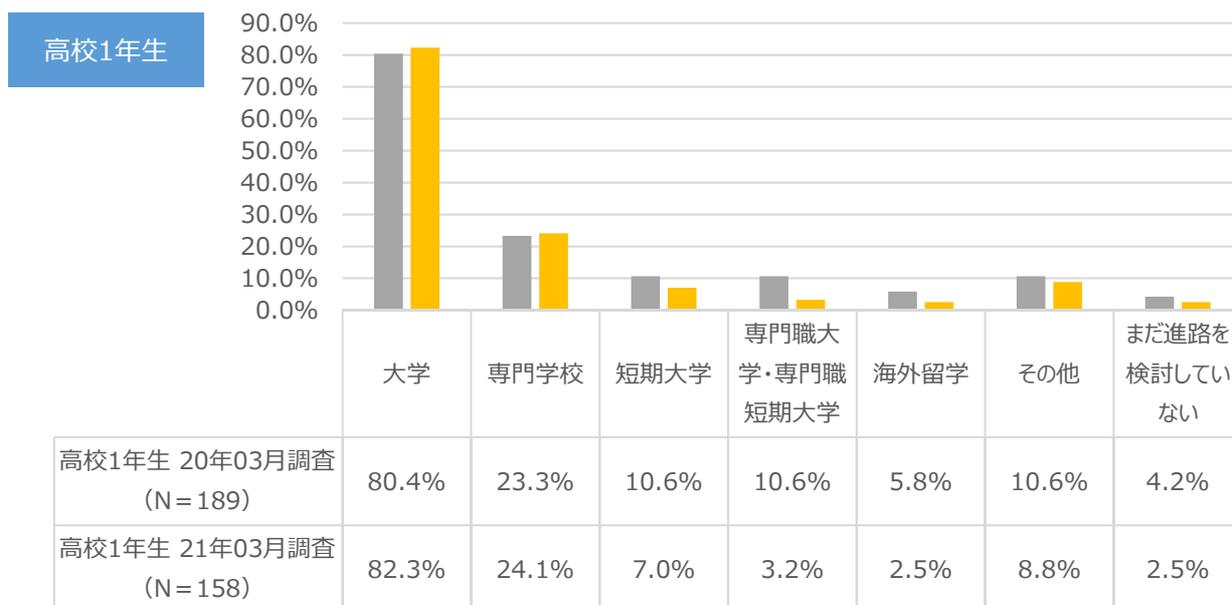


「実力・成績がなかなか伸びなかったこと」(52.0%)が最も高く、次いで「志望校の判定が低かったこと」(44.6%)、「勉強になかなか集中できなかった」(39.9%)と、2020年3月調査と上位3項目に変わりはありませんでした。
「風邪や新型コロナウイルスなどへの体調管理」は2020年3月調査から11.8ポイント増の21.8%と、受験生に大きなストレスとなっていたようです。
一方「どうしても浪人したくなかったこと(現役で合格したかったこと)」は26.9%と、2020年3月調査より5.1ポイント減少しました。

2 高校1・2年生の進路検討状況

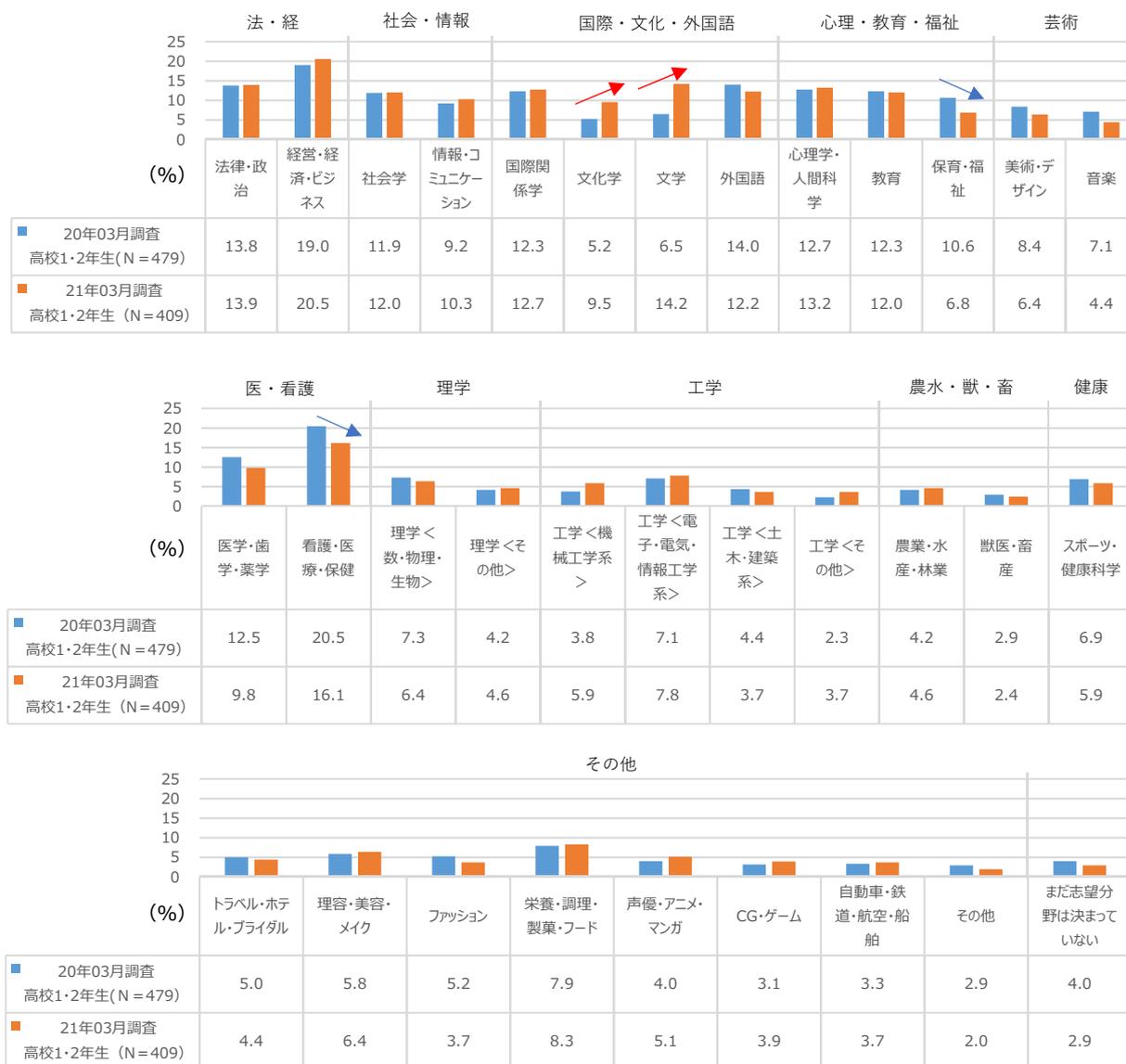
2021年3月時点の高校1年生・2年生に、検討している進路・興味のある学びの分野を尋ねました。

(1) 検討している進路（複数回答）



2 高校1・2年生の進路検討状況

(2) 興味のある学びの分野 (複数回答)



21年3月調査も20年3月調査と同様に、「経営・経済・ビジネス系」(20.5%)の回答が最も高くなり、「看護・医療・保健」(16.1%)が続きます。しかしながら、「看護・医療・保健」は前年調査より4.4ポイント減少。「保育・福祉」(6.8%)も3.8ポイント減少と、コロナ禍によりエッセンシャルワーカーの労働環境や医療崩壊といったマイナス面が報道されたことなどが、影響したのではないかと推測されます。一方、前年調査より増加が著しいのは「文化学」(9.5%)、「文学」(14.2%)などです。

3 高校1・2年生が感じている進路に対する不安（自由回答）

新型コロナウイルス流行について

- ・今後どのように、どのくらいの年数が経てばコロナウイルスが収束するのか心配。（高1）
- ・コロナでどのくらい規制されるか。（高2）
- ・入試の時期に新型コロナウイルス感染症に自分がかかってしまうかもしれないこと。（高2）
- ・入試に行ったことによってコロナ集団感染しないか。（高2）

勉強・部活について

- ・現役で合格したいので、勉強が間に合うかどうか心配。（高1）
- ・コロナの影響で他の学校との差がどれくらいあるのかもわからず、不安。（高1）
- ・新型コロナウイルスの感染が拡大し、ただでさえ不安定な中ではじまった共通テストに対して、100%の対策ができる気がしない。（高1）
- ・自身の勉強が思うように進まず、合格できるのか不安になっている。（高2）
- ・総体があるかどうか分からないが、部活はある。もし、総体がないのであれば、部活はやめて勉強したい。（高2）
- ・今のままの勉強で受験に合格できるだけの学力を身につけられるのか。（高2）

志望校の選択について

- ・それぞれの大学の違いを比べられない。（高1）
- ・2年後までコロナの影響が受験にどれくらいあるかわからないので情報収集がスムーズにできるか心配です。（高1）
- ・自分がやりたいことは大まかに決まっているがどのような大学を選べばいいかわからない。（高2）
- ・コロナの感染状況によっては都心ではなく、地方に行った方がいいのではとったり、留学が出来ないのではなかと思う。（高2）
- ・実際にキャンパスに行く機会がコロナの影響で無く、学校選びに時間がかかりそう。（高2）
- ・大学受験に対しての知識が少なく、漠然としていて現実味がない。どうしたらいいかわからず、何をどう調べたらいいかわからない。ただ焦りだけが先走ってしまう。（高2）

オープンキャンパスについて

- ・オープンキャンパスがないので、自分の希望する学部について詳しい内容がわからないので、本当にこのまま希望して大丈夫なのか不安になる。(高1)
- ・オープンキャンパスが開催されなかったりするので、大学の情報を得るものが少ない。(高1)
- ・実際に足を運んで学校を見学したいが、なかなかオープンキャンパスが開催されないのと、まだコロナが心配で躊躇している。(高2)
- ・オープンキャンパスや学園祭など、実際に大学のキャンパスに行く機会がなく、学校の様子を知ることがあまりできないので本当にその学校が良いのかなどいまいち分からないことが多い。(高2)
- ・今年はコロナの影響でまだ、オープンキャンパスなど参加していないせいか、なかなか行きたいと思う大学が見つからない。(高2)

入試内容・日程などについて

- ・受験に向けて勉強してきたのに当日延期とかになるのは怖い。(高1)
- ・面接がオンラインじゃないところが気になる。(高2)
- ・例年通りに入試が行われて欲しい。(高2)
- ・コロナ感染の再拡大で、スケジュールなどの変更がこの先あるかもしれない不安がある。(高2)

入学後について

- ・進学したら、ちゃんと学べるのか…。(高1)
- ・入学後にオンラインなどの授業になるのは嫌だと感じる。(高2)
- ・志望している地域がコロナ感染拡大地域なので、進学したところで、オンライン授業ばかりでは意味があるのかどうかという点。1人暮らしがコロナ禍で大丈夫かという不安。(高2)
- ・希望の学科で将来の就職や就職後の生活が成り立つかどうか？が不安。(高2)